

ご卒業おめでとうございます。

皆さんにお会いして、直にお祝いを申しあげたいと願っていましたが、式の時間短縮のため、今年も出席を控えることとしました。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行が始まってから既に2年を超え、いまだに収束が見通せません。皆さんは大学4年間というかけがえのない学生生活の半分をこのコロナ禍で過ごされたこととなります。キャンパスで過ごす時間も、友達と語らう時間も限られ、残念な思い、悔しい思いで今日の日を迎えられた方も多いのではないのでしょうか。

ただ、皆さんと本学との関係は、今日をもって終わる訳ではありません。私たちは卒業生としての皆さんのご活躍を祈りながら、これからもずっと応援していきたいと思っています。東京家政学院大学はいつまでも皆さんの母校です。どうか気軽に大学を訪ねてきてください。私たちも皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

ご卒業にあたり一つだけアドバイスをしたいと思います。それは「好奇心を持ち続けてほしい」ということです。

人生の中で直面する問題、仕事において取り組む課題、組織や社会が抱える問題など、どれも明らかな正解があるわけではありません。より良い答えを見つけ出すためには、一つの物事を一方向からだけ眺めて判断するのではなく、様々な角度から多面的にとらえて考えることのできる力が必要です。

また、一つの事柄を深く理解すると、次々に新たな疑問が湧いてきます。「もっと知りたい」という欲求は、知識を豊かにしてくれるだけでなく、自分を前向きにしてくれます。こうして人は生涯学び続け、自身を成長させていくことができるのだと思います。

好奇心は皆さんの生きる力となり、人生を心豊かで、実り多いものにしてくれるはずです。

東京家政学院は来年の2023年に創立100周年を迎えます。創立者である大江スミ先生は日本の家政学の先駆者です。皆さんは長い歴史と伝統を有する学院の卒業生です。誇りと自信を持って未来に向けて歩いていってください。

皆さんのご健康とご多幸を心から願っています。

令和4年3月19日

学校法人東京家政学院
理事長 吉武 博 通